

社会保険庁からのお知らせ

平成21年4月から、現在国民年金または厚生年金の被保険者の皆様に「ねんきん定期便」を毎年、誕生月に送付させていただくことになりました。

これは、国民年金または厚生年金の現役加入者の皆様に、国民年金や厚生年金の加入期間や保険料納付実績などの個人情報をお知らせすることにより、加入記録の確認とともに、年金制度へのご理解をいただくことを目的としております。

「ねんきん定期便」がお手元に届きましたら、ご自分の年金加入記録などをご確認いただき、もれや間違いがある場合は同封の「年金加入記録回答票」にご記入いただき、社会保険業務センター（社会保険庁）あての返信用封筒でご返送ください。

もれや間違いがない場合は、回答をいただく必要はありません。

ただし、58歳になられる方や「ねんきん特別便」などの回答をいただいていない方など、水色の「年金加入記録回答票」が同封されている方はもれや間違いがない方でも、もれや間違いがないという回答をしていただくことになりますので、「年金加入記録回答票」を必ずご返送いただきますようお願いいたします。

「ねんきん定期便」に関するお問い合わせ

「ねんきん定期便専用ダイヤル」

0570-058-555（ナビダイヤル） IP電話・PHSからは 03-6700-1144

受付時間 月～金曜日 9:00～20:00 第2土曜日 9:00～17:00

（なお、祝日・12月29日～1月3日はご利用いただけません。）

※このダイヤルでは「ねんきん特別便」に関するお問い合わせについてもお受けいたします。

国民年金

〈問合先〉

岐阜南社会保険事務所

☎273-6161



教育委員会だより

豊かな心は、 あいさつから

「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「ごちそうさま」……。1日の内で、交わされるあいさつは、いろいろな場面で人と人とを結びつけています。考えてみると、あいさつは、家族、友人、上司、恩師など人間関係がすでにある場合で交わされることが多いのですが、そうでない場合もあります。

先日、こんな光景に出会いました。6月のある日、ある教育関係者Aさんが郡内の中学校に行った時のことです。ちょうど授業が終わって、教室移動の時間帯です。Aさんは、生徒からのあいさつを待つことなく、こちらから大きな声で「こんにちは!こんにちは!」とあいさつを生徒にかけていきました。始めは、いったい誰だろうと構えていた生徒達は、その方の元気さにつられたのか、どんどん「こんにちは!」とあいさつを返し始めました。そして、「元気?」とAさんがあいさつの次に

声をかけると「はい、元気です。これから数学の授業です」と言葉が返ってきました。その後、訪問者と幾人かの生徒と学校生活などについて会話が始まったそうです。のちに、Aさんからは、「生徒達は、楽しそうにいろいろなことを話してくれた」と聞きました。

あいさつは、人間関係がない間柄でも交わせるという「魔法の言葉」です。全く知らない者同士でも、言葉を交わしあえるのが、あいさつです。そこから会話が始まり、人間関係をつくるきっかけになります。人と人とのつながりができます。そうすると人の心は、晴れ晴れとします。心が落ち着き、楽しくなり、満たされます。これこそ、豊かな心が育まれる出発点と言えます。

昨今は、人と上手く関われないという青少年事情があると言われます。「近頃の若者」という言い方をするとマイナスイメージを多くもちがちですが、そんなことはありません。子どもたちは、純粋な心を持っています。ただ、やや内気であったり、少し人と関わる体験が少なかったりして自分を出せないでいるのです。「だめだ」と大人は嘆いていないで、積極的に関わっていき、将来を担う若者に、豊かな心をもたせていきましょう。

教育電話相談

～悩んだら気軽に電話してください～

羽島郡二町教育委員会

☎ 245-1133